



産業廃棄物処理計画書

2021 年 5 月 31 日

(宛先) 長野市長 加藤 久雄

提出者

住 所 長野市篠ノ井布施高田955番地3

氏 名 川中島建設株式会社

代表取締役社長 笠井 澄人

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-292-1341

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称 川中島建設株式会社

事業場の所在地 長野市篠ノ井布施高田955番地3

計画期間 2021年 4月 1日 ～ 2022年 3月 31日

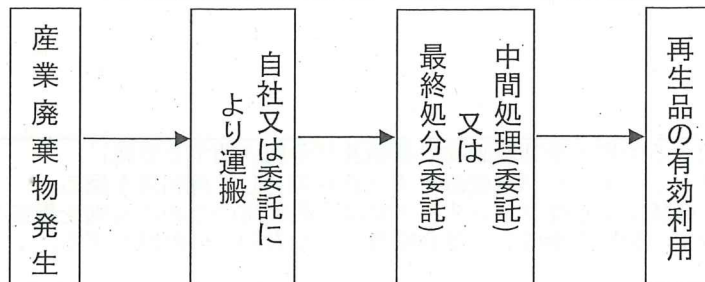
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類 総合建設業

② 事業の規模 完成工事高

③ 従業員数 72名

④ 産業廃棄物の一連の処理工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙 組織図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス)	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管)	紙くず
	排出量	3,160.90t	4.90t	46.60t	32.10t	13.80t	5.70t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物			
	排出量	276.20t	8.50t	0.70t			
	(これまでに実施した取組) ・ 工場で建設資材を加工し、現場での端材の発生を抑制する。 ・ 加工材料の搬入数量を適正に管理する。 ・ 簡易梱包・再利用できる梱包材の使用を求め、梱包ごみの発生を抑制する。						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス)	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管)	紙くず
	排出量	3,150.00t	4.50t	46.00t	32.00t	13.00t	5.50t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物			
	排出量	276.00t	8.00t	0.50t			
	(今後実施する予定の取組) ・ 工場で建設資材を加工し、現場での端材の発生を抑制する。 ・ 加工材料の搬入数量を適正に管理する。 ・ 簡易梱包・再利用できる梱包材の使用を求め、梱包ごみの発生を抑制する。						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ コンクリートくず、ガラス陶磁器くずは骨材等として再利用を図る。 ・ 木くず、金属くず、廃プラスチック類は、再利用のための分別を徹底する。 ・ 作業所内での分別を行い、混合廃棄物となる割合の削減を図る。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ コンクリートくず、ガラス陶磁器くずは骨材等として再利用を図る。 ・ 木くず、金属くず、廃プラスチック類は、再利用のための分別を徹底する。 ・ 作業所内での分別を徹底し、混合廃棄物となる割合の削減を図る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 2 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート、廃アス)	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管)	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート、廃アス)	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管)	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート、廃アス)	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管)	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート、廃アス)	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管)	紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物			
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組)							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 2 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管理	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
(これまでに実施した取組)							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管理	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組)							

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 年度）実績】						
産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート、アスファルト、レンガ)	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード等)	廃プラスチック類(廃タイヤ、発泡スチロール等)	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	紙くず
全処理委託量	3,160.90t	4.90t	46.60t	32.10t	13.80t	5.70t
優良認定処理業者への処理委託量	3.90t	0.90t	40.90t	12.80t	13.80t	
再生利用業者への処理委託量	3,159.30t	4.60t	8.60t	31.30t		
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物			
全処理委託量	276.20t	8.50t	0.70t			
優良認定処理業者への処理委託量	143.10t					
再生利用業者への処理委託量	180.60t					
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
(これまでに実施した取組)						

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート、廃アスファルト、レンガ)	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含)	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	紙くず
全処理委託量	3,150.00t	4.50t	46.00t	32.00t	13.00t	5.50t
優良認定処理業者への処理委託量		4.50t	46.00t	32.00t	13.00t	
再生利用業者への処理委託量	3,150.00t	4.50t		32.00t		
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物			
全処理委託量	276.00t	8.00t	0.50t			
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量	276.00t					
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						

(今後実施する予定の取組)

②計画

※事務処理欄

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項		産 業 廃 棄 物 の 種 類（実績値・計画値）											合 計
		がれき類 (コンクリ がら、廃 プラスチック)	ガラス・ コンク リート・ 陶磁器ノ ズ	廃プラス チック(廃 タイヤ、 発泡スチ ロール)	金属くず	建設混合 廃棄物(安 定型、管 道等)	紙くず	木くず	繊維くず	石綿含有 産業廃棄 物			
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	3,160.90t	4.90t	46.60t	32.10t	13.80t	5.70t	276.20t	8.50t	0.70t			3,549.40t
	本年度排出量(計画)	3,150.00t	4.50t	46.00t	32.00t	13.00t	5.50t	276.00t	8.00t	0.50t			3,535.50t
自ら行う(行った) 再生利用に関する事項	前年度実績												
	本年度計画(目標)												
自ら行う (行った) 中間処理 に関する 事項	自ら行う (行った) 熱回収の量												
	本年度計画(目標)												
	自ら中間処理 により減量 する(した)量												
	本年度計画(目標)												
自ら行う(行った)埋立 処分又は海洋投入処分 に関する事項	前年度実績												
	本年度計画(目標)												
処 理 の 委 託 に 関 す る 事 項	全処理委託量	前年度実績	3,160.90t	4.90t	46.60t	32.10t	13.80t	5.70t	276.20t	8.50t	0.70t		3,549.40t
		本年度計画(目標)	3,150.00t	4.50t	46.00t	32.00t	13.00t	5.50t	276.00t	8.00t	0.50t		3,535.50t
	優良認定処理業者 への処理委託量	前年度実績	3.90t	0.90t	40.90t	12.80t	13.80t		143.10t				215.40t
		本年度計画(目標)		4.50t	46.00t	32.00t	13.00t						95.50t
	再生利用業者 への処理委託量	前年度実績	3,159.30t	4.60t	8.60t	31.30t			180.60t				3,384.40t
		本年度計画(目標)	3,150.00t	4.50t		32.00t			276.00t				3,462.50t
	認定熱回収業者 への処理委託量	前年度実績											
		本年度計画(目標)											
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	前年度実績											
		本年度計画(目標)											

【記載方法】

- ・ 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・ 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・ 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- ・ 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。